



33名の参加者から「感想・期待すること」を6班のグループに分かれて話し合いを進めたのち、地域づくり専門家である都岐沙羅パートナー

3月25日(土) 午後から真人ふれあい交流館でビレッジプラン真人里地区将来プラン策定の報告会を小千谷市山口良信副市長を来賓に迎えて開催し、策定委員のメンバーから10年後の姿を見据えたプランにつ

ビレッジプラン 3.25 真人里地区 将来プラン報告会開催

真人の風

第 49号 (不定期)
(令和 5年4月25日)
(全戸配布)

地域づくり 49号

発行: 真人地区町内会長協議会
会長: 瀧澤 功 編集: 渡邊 良平
真人ふれあい交流館 Tel: 86-3002

当日は、33名の参加者から「感想・期待すること」を6班のグループに分かれて話し合いを進めたのち、地域づくり専門家である都岐沙羅パートナーより、将来プランに向けたポイントや対策について提言をいただき、これから進める10年プランの最初にあたる短期1〜3年に「何をやるか」をテーマに分野別の6グループに分かれて話し合いを進めました。

【プランの感想】
プランの内容が漠然としている
来年から何をやるのか明示すべきとの意見をいただきました。

小千谷市真人里地区将来プラン ~ 取組スケジュール ~

重点取組	具体的な取組内容	
	短期的 (1~3年)	中期的 (3~5年)
①担い手が営農継続できる活動	<広域的組織> ・地域計画の策定に向けた検討 ・担い手アンケートの実施 <専業農業者グループ> ・情報交換会の実施	・モデル団地の担い手農家集約化の支援 法人化・組織化・外部人材受け入れ、商品開発等の検討
②住民みんなで農村を守る活動	<広域的組織> ・農道・用水路の共同管理に向けた仕組みづくり ・水利組合等の共助活動実施	・農道・用水路の共同管理実施 ・地域の住民等への協力募集
③困りごとを解決する活動	<高齢者支援> ・買物・通院等の不自由の把握 ・移動支援の実証実験 ・ボランティア等人材調査 <子育て支援> ・子育て世帯の話し合い場所作り	・移動販売車(者)と連携協議、試行(店舗、注文・配達) ・車両配置と運営協議・人材確保 ・子供が集まれる場所と人材確保
④助け合い(共助)の活動	<高齢者支援> ・除雪支援の仕組みづくり検討 ・高齢者の困りごとの相談や手助けの継続、維持	・町内で除雪機の購入、活用 ・健康・介護予防活動の増進 ・出来ることへの支え合い支援
⑤住民が楽しむ活動(住民の交流と拠点づくり)	・活動拠点施設の住民意向把握 ・活動拠点でのイベントの試行実施 ・実施体制等の仕組み・方針の検討	・地域拠点の確保と住民周知 ・世代を超えた交流(カフェ)の実施と内容検討
⑥外部の人も楽しむ活動(真人里地の魅力創出・発信)	・地域の魅力ある「こと・モノ・人」の発掘 ・先輩から「食と農」の技術継承	・移住サポーター等と連携した真人里地PRツールの検討と作成 ・「食と農」に関わる担い手の育成

真人(まっと)里地区将来プランの概要 (フェイスページ)

小千谷市真人里地区将来プラン ~ 地域が目指す姿と就農・定住目標 ~

○ **地域が目指す10年後(2032年)の姿【もっと、ホットにキラッとまっと!】**

- ずっと真人の田園風景。もっと輝く真人米☆
~住民みんなで守る農業を行います!~ **地域農業継続の取組み**
- ほっと真人。笑顔で楽しんでいるまち☆
~住民みんなが住んでよかったまちづくりを行います!~ **笑顔で楽しんでいるまちづくり**
- きらっと真人。水と雪に恵まれた農と食のまち☆
~住民みんなが地域資源で活力ある場所づくりを行います!~ **地域の資源で活性化**

小千谷市真人里地区将来プラン ~ 重点的に取り組む内容 ~

- 地域農業継続への取組み
 - ① 担い手が営農継続できる活動
 - ② 住民みんなで農村を守る活動
(取組主体: 小千谷市真人里地広域集落協定、真人地域資源保全会、水利組合、の代表者及び農業委員会、若手認定農業者等で構成する組織)
- 笑顔で楽しんでいるまちづくり
 - ③ 困りごとを解決する活動
 - ④ 助け合い(共助)の活動
(取組主体: 真人町里地振興協議会、真人町里地福祉会、デイホームまっと推進協議会、有志等)
- 活力ある地域づくり
 - ⑤ 住民が楽しむ活動
 - ⑥ 外部人も楽しむ活動
(取組主体: 真人町里地振興協議会、小千谷市民館真人分館、有志等)

なにことも **てみる** を大切に!

やってみる
試してみる
ダメならやり直してみる

解決方法よりも **問題・課題の特定** が重要!

深掘りにあたってのポイント

1つの事象に対して **なぜそうなのか?**

を2回以上考えるようにしましょう

根本的な要因 (= 真の問題) を探っていく

【講師アドバイス】
身近な生活課題も 解像度を上げろ!!

・解像度の低い漠然とした状態で解決策を考えていると、実効性のある意見は出てこず、アクションも起こらない! 解像度の低い情報で対策を考えるから机上の空論になる。

・住民の意見は、客観的必要性(ニーズ)ではなく、主観的要求要望であることが多い。

一つの事象に対して「なぜ?」なのか? 「2回以上考えるように」しましょう。そして、**問題・課題の特定**が重要です。その深掘りする時は「対話の場が効果的」である。

これからは「ことごとく〇〇を大切に!」や「やってみる 試してみる」ダメならやり直してみる

まずはやってみる

・しっかりと計画・準備は、本格実施の時OK!

【各段階移行前に見直し実施】

短期的 (1~3年)	中期的 (3~5年)	長期的 (5~10年)
<広域的組織> ・地域計画の策定に向けた検討 ・担い手アンケートの実施 <専業農業者グループ> ・情報交換会の実施	・モデル団地の担い手農家集約化の支援 法人化	・担い手農家の集約化の拡大
<広域的組織> ・農道・用水路の共同管理に向けた仕組みづくり ・水利組合等の共助活動実施	・農道・用水路の共同管理実施 ・効率的な共同管理の実現	
<高齢者支援> ・買物・通院等の不自由の把握 ・移動支援の実証実験 ・ボランティア等人材調査 <子育て支援> ・子育て世帯の話し合い場所作り	・移動販売車(者)と連携協議、試行(店舗、注文・配達) ・車両配置と運営協議・人材確保	
<高齢者支援> ・除雪支援の仕組みづくり検討 ・高齢者の困りごとの相談や手助けの継続、維持	・町内で除雪機の購入、活用 ・健康・介護予防活動の増進 ・出来ることへの支え合い支援	
・活動拠点施設の住民意向把握 ・イベントの試行実施 ・交流事業を企画する実施体制等 ・実施体制等の仕組み・方針の検討	・地域拠点の確保と住民周知 ・世代を超えた交流(カフェ)の実施と内容検討	
・地域の魅力ある「こと・モノ・人」の発掘 ・先輩から「食と農」の技術継承	・移住サポーター等と連携した真人里地PRツールの検討と作成 ・「食と農」に関わる担い手の育成	・観光客の誘致 ・農産加工 ・交流人口の増加

農業関係者で独自に展開

共助を考えていく上では

- ① 実態把握
- ② ニーズ調査
- ③ 先行事例研究から!

まずは方向性を決める (保育園を拠点化!?)

将来プランの具体的な取り組みについて

短期的に何をやるか？



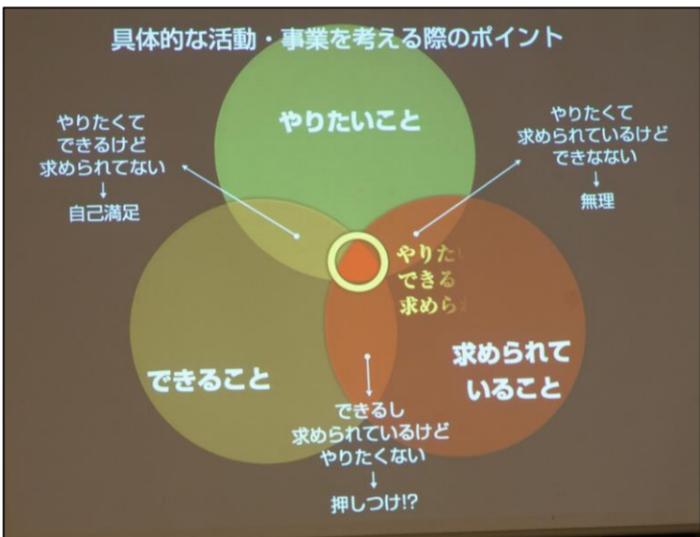
最初は妄想でOK
 ↓
構想を練る
妄想：思いついただけ
構想：実現の手順もある
 ↓
まずはやってみる
・しっかりした計画・準備は、本格実施の時OK!
・思いついたら、まずは小さな実験をやって既成事実を作ってしまう!

講師のアドバイスを受けて、将来プランの具体的な取組とし、「短期的に何をやるか？」をテーマに話し合いをしていただきました。

- 【意見・提案など】**
- ・ 移動支援や除雪支援の必要なことはわかる。 → 誰かやる(人の確保)
 - ・ 移動販売 → いつ来ているかわからない(利用者は固定化している) → 単に知らない人が多いだけ → もっと地域で周知しよう
 - ・ 移動購買車いつ来ている → 品揃いに不満 → もっと事業者へ伝えてもいいのでは？
 - ・ 移動支援 → 買い物支援にフォーカスしてもいいかも(乗合バス)
 - ・ 買い物支援 → 年金日に買い物ツア → 持って帰るのが大変 → 宅配サービス利用？

・ 思いついたら、まずは小さな実験をやってみる。既成事実を作ってみよう。

- ・ ネット販売の注文代行の仕組み化
- ・ 子育て世代でも買い物支援を求めている → 交流館などを活用して頒布会があるといい
- ・ 不用品リサイクル子供服・スキーなどの場があるといい



いただいた内容を生かしながらこれから実践に移していきます。

【農業部門】

農業の維持については、地域の農業組織や団体、若手農業者から、国が進める地域計画と合わせた取り組みを行っていくこととしています。関係者、農業者の方からはご理解と協力をお願いします。また、将来的には農業施設の維持管理についても新たな取組を行いたいとの意向もありますので、その際は地域全体で支えていただきたいと思います。

【共助活動・活性化】

地域でできることについてフォーカスして進めたいと考えています。現状把握の活動を行いながら、共

助の取組みを行っていきます。また、移動支援や買い物支援でも、使えるサービスについて知らないことや情報が伝わっていないこともあり、研究しながらスタートをしていきたいと考えています。プラン実践の組織を立ち上げましたら具体的なお知らせや協力依頼などを伝えたいと考えていますのでよろしくお願います。

できるところから始めました

まず出来ることとして、市街地に出かけても溶けては買って帰れない「アイスクリーム」の販売について「アイスクリームを橋本屋さんのご協力を得てお借りし、試し販売を真人ふれあい交流館で事務員さんの負担にならない程度の内容で始めました。アイスクリームの仕入れに際し、



ネットスーパーを実施している担当者から説明を受けて勉強しました。移動購買車の利用の周知や、注文、配達の仕事なども研究し、利用の仕方などを紹介した保存版の資料を今後配布したいと考えています。

アイスクリームあります

アイスの販売を始めてみました！
みんな来てね
定価販売のみ
真人のま〜ちゃん(アキバ不詳)

11 住み続けられるまちづくりを

地域と行政との協働は？

今後の地域づくりを進める中で、「地域でできることは、地域で話し合っけて地域で決めて実行する」と話してきました。

人口減少で税収も上がらず、高度成長時代のインフラ整備された施設などの更新費用や教育・福祉などの義務的経費などから行政の財布もままならなくなってきました。

皆さんも最近の道路は傷んでも中々か補修されるまで時間を必要とする所が増えてきたと思いませんか？これは一つの例でしかありませんがこれからは行政頼みでは無理な事柄も増えてくる中で地域の活動が当然重要になってきます。

そういった中で「地域づくり」にかかる担当部署などでは、そのような意識を職員自らが持っていることから、相談や協議もできますが、そういった部署でない職員の感覚はまだまだ遠いようで、今回の真人里地区将来プランの報告会の中で感じるところがありました。

行政頼みでなく、地域が自ら組織して活動するにも、行政や民間とも役割分担や、協働して行わなければならないことが多く出てきます。

これから地域がプランの実践として、問題や課題解決を進めようとするときに、行政側も行政としての関わりなどを示す時期になってきていると考えます。移動支援や拠点施設について、真人里地区将来プラン

実践委員会の体制を整えてから相談や協議を進めたいと考えています。(地域づくり支援員渡邊)

【新旧役員ら継ぎ】

真人地区町内会長協議会
真人町里地振興協議会

3月19日に西協議会の引継ぎ会議が真人ふれあい交流館で開催されました。

新年度の役員を「紹介」します。4月から1年間お世話になります。

【真人地区町内会長協議会】

- 会長 瀧澤 功
副会長 藤巻尚郎 細金 靖
各町内会長
上沢 高橋正一 万年 引馬茂夫
栗山 藤巻久弘 干三 羽鳥徳義
本村 大窪善夫 源藤山 稲餅孝行
石名坂 藤巻尚郎 中山 羽鳥強志
芋坂 大淵徹夫 時之島 鈴木晋哉
市之沢 渡辺幸一 山新田 渡部寛明
芹久保 永井尚夫 若柝 細金 靖
北山 樋口紀和

【真人町里地振興協議会】

- 会長 瀧澤 功
副会長 藤巻尚郎 高橋正一
理事 各町内会長

桜がきれいに咲き揃い、ご覧になられたことと思います。令和5年度がスタートし、当協議会も新役員体制で活動開始となりました。地域内の生活環境改善をはじめとし、それぞれの町内の諸問題に取り組んでまいりますので、皆さんのご協力をよろしくお願いいたします。



お知らせ版へ続く
(会長 瀧澤 功)

真人の風

(令和 5年4月25日)
(全戸配布)

おしらせ版 1号

発行: 真人地区町内会長協議会
会長: 瀧澤 功 編集: 渡邊 良平
真人ふれあい交流館 Tel. 86-3002

真人北部地区 事務員不在となる

真人北部町内会長協議会では、週三回(月、水、金の午前)に勤務していましたが山賀事務員さんが、昨年度末で退職となりました。

これに伴う毎年度の「道路・河川の要望書」について、地域づくり支援員が作成の支援を行うこととなりました。北部地区の各町内会長さんは地区内の要望(位置図、状況写真、要望内容)を取りまとめ、5月15日(月)までに真人ふれあい交流館へ提出してください。

なお、補修や緊急を要するものについては、随時担当機関へ連絡願います。

【道路損傷通報システム】

スマートフォンをお持ちの方は次の方法で通報することもできます。

小千谷市 道路損傷通報システム



小千谷市 LINE 公式アカウントから、写真や位置情報を送信して通報することができます。

新潟県 道路損傷通報システム



LINEアプリを起動してQRコードから友達登録をし、県の管理する道路の通報情報を通知することができます。

住民票交付など 時間が必要に

住民票や印鑑証明、戸籍の謄本・抄本・附票、所得課税証明などの交付の手續きについて、真人ふれあい交流館で受け付けて市役所の市民課(税務課)に送り、交付された証明等を再度送り返していただいた後に申請者へお渡ししています。

市役所との文書連絡が、昨年度は朝と昼の二回でしたが、今年度の4月から朝の一回になりました。このため真人ふれあい交流館で受領してから、申請者にお渡しするのが翌々日となります。お急ぎの方はご留意願います。

【コンビニ交付】

マイナンバーカードを取得している方は、コンビニマルチコピー機キオスク端末設置店で各種証明書の交付が受けられます。

利用できる時間は年末年始(12月29日～1月3日)とシステムメンテナンス時を除く午前6時30分～午後11時までとなっています。

詳細は小千谷市HPからご確認ください。スマートフォンからは下記のQRコードから確認できます。



各種証明書などの 利用方法はこちらから

スマートフォンをお持ちの方のコンビニ交付については、こちらのQRコードから確認できます。できそうかな? ところかな? 参考にしてください。なお、里地振興協議会の丸山事務員さんは住民票のコンビニ交付を試し、「意外と簡単でした」と報告を受けました。

【スマホ教室必要?】

最近、スマホの使い方について教えてほしいなどの声を聞くようになりました。5月以降に小千谷市公民館事業で、「体験や講習会」が予定されています。興味のある方は情報にご留意ください。(高齢者学級対象者今後対象者へは案内が予定)



コンビニストア等における 証明書等の自動交付



証明書の取得方法



コンビニエンスストア等にて、証明書を取得する方法をご紹介します。まず最初に、店舗に設置されているキオスク端末(マルチコピー機)の画面に表示されている「行政サービス」ボタンを押していただきますと、利用開始となります。
※ 代表的な端末の画面イメージを示しますので、参考にしてください。



コンビニ交付の利用

必要な所をクリックします

お知らせ・新着情報

コンビニ交付とは

サービスご利用前の準備

証明書の取得方法

本籍地の戸籍証明書取得方法

利用できる市区町村

利用できる店舗情報

よくあるご質問(住民の方向け)

ウーパールーパーが 真人にやってきました!!

真人ふれあい交流館の交流ホールにウーパールーパーが津南町の濱崎一夫さんから寄贈されて展示しました。来月の5月25日で一歳の誕生日を迎えます。適正な管理の下では10年以上は生きるといえます。



10年後の真人の姿を見守りながら真人の「まあちゃん」として住民の癒しになれば幸いです。是非ご覧にお越しください。

お試しで アイス販売始める

ビレッジプラン実践事業で行った真人里地区将来プランでの、できることからやってみようという事で、保健所へ営業届出を提出し、「アイスクリームの販売」を始めました。これは、信濃川河岸段丘ウォーク休憩所の接待案から出た話でしたが、あったら良いねの声もあり、試行的なものです。

今後の様子を見ながら買い物支援に繋がっていくといいですね。



アイスクリーム販売開始
アイスクリーム販売始めました!
全品100円!!

ロッテアイスクリーム

真人ふれあい ウォーキング

公民館真人分館では、今年も6月11日(日)にウォーキングの開催を決定しました。今年は短いコースも予定し、二つのコースが選択されま



すので、多くの住民の皆様から参加をお願いいたします。詳細は後日真人分館から案内が行われます。(写真は昨年の様子)

リラックスヨガ開催

第1回となる「リラックスヨガ」が4月6日(木)に真人ふれあい交流館で開催され、柳田先生の指導により自分に合わせた強度で楽しんでおられました。



次回は、5月11日(木)の健康教室開催後の時間に行います。なお、その後も月1回の開催で実施予定です。参加費は公民館真人分館とデイホームまっこの共催

者が負担のごことで、参加者は無料での参加となります。多くの皆様の利用をお待ちしています。

お花見ドライブ

デイホームまっこの恒例となるお花見を4月11日(火)に真人里地区、4月14日(金)に北部、芋時地区



の二回に分けて実施しました。今年は桜の開花も早かったため、五泉市のチューリップなどを見学に、合わせて53名の参加がありました。

公民館真人分館 審議委員会開催

小千谷市公民館真人分館は4月8日(土)に新旧の引継ぎと今年度の事業について協議を行い、4月14日(金)の午後7時から審議委員会を真人ふれあい交流館で開催し、令和5年度の事業報告、決算報告と令和5年度の事業と予算計画について審議し、議決しました。



新型コロナウイルス感染症対策で中止や規模縮小していた事業などの開催が元に戻せるのか、人材を含めた運営に苦慮し始めているところが見られます。住民皆様のご協力をお願いいたします。

お知らせ

①今年度の運動会は中止とし、代替事業として第3回目となるウォーキングを実施します。なお、お手数をおかけしますが、各町内から安全確保のための人材についての要請をお願いの予定をしています。
②ホテル観賞会は、今後の開催を中止し、同時に開催の「チマキづくり」についても今年は中止としますが、ピレツプラン(真人将来プラン)の食に関する実証実験との協議をしながら、今後の開催や継続について検討をまいります。
事業の中止、開催についてご意見がありましたらお知らせください。

ゲートボール準優勝

若柝チーム

第33回小千谷市インドアゲートボール大会が小千谷市総合体育館で3月6〜7日にかけて予選(8チーム)が行われ、若柝チーム(代表内山博文)は予選を勝ち抜き、3月8日(土)の決勝大会で4チーム総当たりのリーグ戦に駒を進めた。

決勝では、昨年全国大会を制した強豪片貝チームに勝利したものの、互いに2勝1敗となり、得失点差で惜しくも優勝を逃し、準優勝となりました。
○チームメンバーは次の通り
主将 渡部敏一、以下選手 内山博文、保科アイ、保科学、樋口昌幸、樋口栄子(以上若柝)、岡三枝子(高梨)



ウクライナへ寄付

デイホームまっこの羽鳥さん

「ザコシユ」でウクライナの子供たちへ小千谷の愛を届けたいプロジェクトとして、ミシンかけ大好き人間の千三町内の羽鳥千夏子さんは、手作りザコシユを作って10万円の売り上げ目標をスタートし、その半額をウクラ

イナから小千谷に避難しているイリナさんと関係者にお届けするとし、市内9保育園を中心に取り組みました。この度目標を達成し、4月17日(月)に支援金として6万円と支援者のメッセージを添え、「ウクライナの子どもたちの笑顔のために使ってもらいたい」という思いを伝えてお渡ししました。
※ザコシユフランス語でカバン・袋を意味します。



真人里地区 フラワーロード作戦

みんなで作る花街道とし、5月28日(日)午前8時から旧住民センター付近の県道で花植えを行います。短時間での終了となりますので、皆さんの参加をお願いします。

【編集後記】

以前から会報誌の紙面が足りなくなっていましたので、今回の4月号は新たに「お知らせ版」を作成しました。皆様の声をお聞かせください。なお、住民の皆様からも紙面を活用したい場合は、「ご相談ください」。原則発行は毎月25日の公報誌の配布に合わせておりますので、掲載希望としましては10日前頃までにお聞かせください。「ご協力お願いします」。それでも紙面は足りなかった渡邊